



2024年 6月27日
第210号

JR 東労組 Yokohama

JR 東労組横浜地本

発行人 助川一実
編集情宣担当
ホームページ



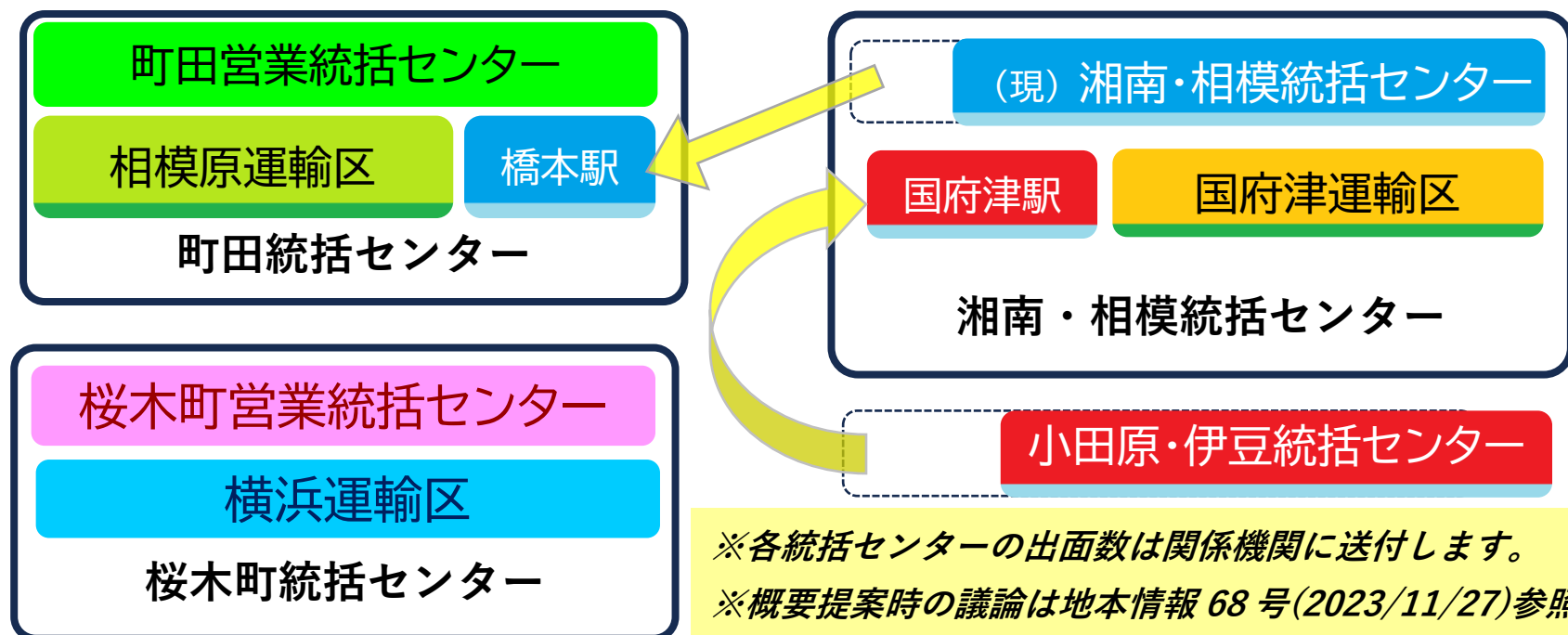
<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

現業機関における柔軟な働き方の更なる推進について（その3） 提案を受ける

横浜地本は6月27日に、標題の提案を受けました。2023年11月に概要提案を受けていた概要提案について、出面数などの体制が成案になったため、示されたものとなっています。今後、職場の声をもとに、労使議論を行っていきます。

統括センター化およびエリア区分け変更 10月1日実施

- 桜木町営業統括センターと横浜運輸区を統合し、「桜木町統括センター」とする
- 町田営業統括センターと相模原運輸区を統合し、「町田統括センター」とする
- 湘南・相模統括センターと国府津運輸区を統合する
- 橋本駅を湘南・相模統括センターから「町田統括センター」に変更する
- 国府津駅を、小田原・伊豆統括センターから湘南・相模統括センターに変更する



●提案時の主なやり取り

組合	会社
統括センター化後の職場規模はどれくらいになるのか？	町田統括センター : 400名程度 桜木町統括センター : 330名規模 湘南・相模統括センター : 430名規模
湘南・相模統括センター内で、海老名駅と橋本駅を融合して担っている方がいる。エリアの区分け変更となる駅職場で、融合で相互に勤務している場合は、所属はどうなるのか。	現にそのように働いている方には、今後について示していく。駅業務に関してエリア跨ぎは無くなっていく。委員会やイベントなどは継続して行うこともある。
湘南・相模統括センター内に乗務区が2つ入る形になる。それぞれの名称をどのようにするのか。	まだ決まっていない。職場で決めることとなる。
湘南・相模統括センター内に乗務区が2つできる形となるが、新人乗務員の養成は、それぞれの線区に配属し行う考えか。	それぞれの線区で行う考えである。
勤務エリアが広がることで、自宅最寄り駅からの経路により、2種類の区間の定期券を支給することとなるのか？	これまで2種類の区間の定期券を出してきたことはない。通勤経路は最短で算出し、現場長が認定するもの。現場で認定されれば、そのようなこともあるかもしれない。

施策による変化点を想定し、職場議論をつくりだそう！